

新着図書からおすすめの5冊



毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日は、8月21日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、8月28日（火曜日）からです。

『対話のことば』

井庭 崇ほか／著、丸善出版／刊、請求記号：146.8/I,11

内容：オープンダイアログから対話の心得を学び、日常生活に活かすための一冊。オープンダイアログの専門家たちが築き上げてきた問題解消の対話の知をパターン・ランゲージ形式で30の「ことば」にまとめ、体系化。

著者紹介：慶應義塾大学総合政策学部教授。博士(政策・メディア)。

『昭和の怪物七つの謎』

保阪 正康／著、講談社／刊、請求記号：281.04/H,91

内容：東條英機、石原莞爾、犬養毅、渡辺和子、瀬島龍三…。昭和史研究の第一人者が、これまでに取材した「昭和の怪物」たち本人、側近、家族らの証言から、「歴史の闇」にあらためて光をあてる。『サンデー毎日』連載を新書化。

著者紹介：1939年北海道生まれ。同志社大学文学部卒。現代史研究家、ノンフィクション作家。2004年菊池寛賞受賞。「ナショナリズムの昭和」で和辻哲郎文化賞受賞。

『学問の発見』

広中 平祐／著、講談社／刊、請求記号：289.1/H,71

内容：学問とは、創造とは何か？父や母、友について語るほか、大学で数学者の道を志し、米国留学で研究を続け、ついに「特異点解消」の定理を完成させるまでの数々の失敗と挑戦を振り返る。手書きメッセージを加えて復刻。

著者紹介：1931年山口県生まれ。ハーバード大学大学院数学科修了。同大学名誉教授、京都大学名誉教授。日本学士院賞、フィールズ賞など受賞。75年文化勲章受章。

『女性はなぜ生きづらいのか』

比嘉 千賀ほか／著、白揚社／刊、請求記号：493.7/H,55

内容：独創的な神経症療法「森田療法」を行う3人のセラピスト(精神科医、臨床心理士)が日常の診療・相談で経験している女性の生きづらさについて、青年・成人・高年期など様々な視点から考察する。『生活の発見』連載を加筆修正。

著者紹介：東京慈恵会医科大学卒業。ひがメンタルクリニック院長。日本森田療法学会・森田正馬賞受賞。

『俳句の誕生』

長谷川 權／著、筑摩書房／刊、請求記号：911,3/H,36

内容：なぜ日本に俳句という短い詩が誕生したのか。言葉と詩歌の発生から、江戸時代半ばの近代大衆俳句の出発、戦後の高度成長以後の近代大衆俳句の内部崩壊までを扱い、松尾芭蕉、小林一茶、谷川俊太郎、大岡信らを論じる。

著者紹介：1954年熊本県生まれ。朝日俳壇選者。サイトにて『ネット投句』『うたたね歌仙』主宰。「季語と歳時記の会」代表。東海大学特任教授。「俳句の宇宙」でサントリー学芸賞受賞。

佐賀県立図書館 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp